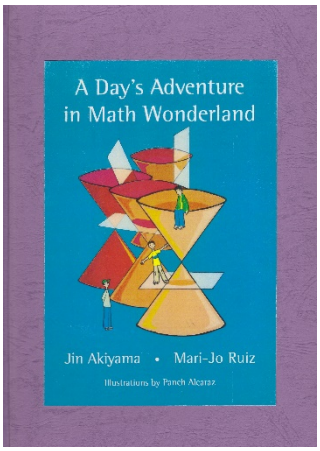
⑬・秋山研究室

発行または編纂本



A Day's Adventure in Math Wonderland　図録（Catalog）

著者： Jin Akiyama, Mari-Jo Ruiz

出版年： 2007 年

発行所： 秋山 仁研究室

総頁数： 224 ページ

解説： 2007 年に World Scientific から出版された本"A Day's Adventure in Math Wonderland"の前身です。この私製本を授業で学生に配りました。内容は 2003 年～2006 年の間、北海道網走に建設されたオホーツク数学ワンダーランドでの展示や来訪者との会話に基づき、創作された本です。

数学を楽しくする教具

監修： 秋山　仁

出版年： 1998 年

発行所： 東海大学教育研究所教育開発部門
（秋山仁研究室編纂）

総頁数： 164 ページ

解説：理数系離れが進んでいます。この事態は科学技術の力に頼って、繁栄を遂げてきた我が国の 21 世紀に大きなダメージを与える恐れがあると産業界、教育界、学会などで指摘されています。この実態を一番敏感に感じているのはきっと数学教育関係者でしょう。高校生の思考力や論理的分析力等の数理能力が質的に低下していることや、数Ⅲ、数 C、物理などを全く履修しない生徒が大半を占めるようになったことなどが報告されています。この現状を踏まえ、数学教育の目指す目標を多様化させ、より多くの生徒層を数学に取り込む策を早急に講じなければなりません。そのためには"多角的な"側面をもつ数学教育のカリキュラムを作成し、閉塞的状況にある数学教育に風穴を開けなければなりません。　近い将来、数学の授業風景が従来のスタイルから脱却することを私たちは期待しています。あるときは教室が工房に早変わりしたり、また、あるときは生徒どうしが数学的なゲームで対戦し、ゲームを通して思考する楽しさを堪能する道場にもわかるのです。そして、生徒たちは自分に適した数学コースを選び、個に応じて能力を伸ばすのです。

　そんな教室の風景を実現するため、東海大学教育研究所では、多くのカリキュラムを今までに開発し、教室で実践して参りました。その中のひとつに"モノづくりを通して数学的概念を納得させる教材"の研究があります。これは、生徒たちに数学的工作を実際に行わせることによって、定理や公式、概念を頭の髄から理解してもらうための教材です。このような趣旨に沿ったトピックス(教具)を 72 件ほど解説したものが本小冊子。本小冊子は元来、東海大学付属校教員のために編集されたものですが、全国各地の方々からの入手希望が相次ぎました。そこで、本省冊子を大幅に増刷し、皆さまの要望に応えることにいたしました。

こんなところにも数学が!

著者：秋山　仁（産経新聞連載）

出版年：　2008 年～2010 年

発行所：　産経新聞社

（秋山仁研究室編纂）

総頁数：　171 ページ

解説：日常生活のいたるところで数学の理論が応用されたり、数学的思考が活躍している様子を、産経新聞の読者たちを対象に合計 118 回に亘り連載した記事を編集したものである。連載期間は 2008 年 1 月 8 日号～2010 年 6 月 5 日号である。

新聞連載綴

著者：秋山　仁

（読売新聞・産経新聞・日本経済新聞・東京新聞、連載）

出版年：　1998 年～2000 年

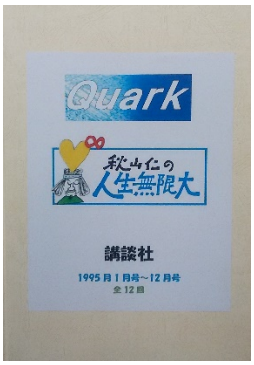
発行所：　読売新聞社・産経新聞社

日本経済新聞社・東京新聞社

（秋山仁研究室編纂）

総頁数：　171 ページ

解説：1998 年～2000 年の間に、新聞の連載記事を編集したものです。内訳は産経新聞に 1998 年 5 月 13 日～26 日(全 6 回)に亘って連載した“おいしいエッセー”、日本経済新聞に 1998 年 11 月 1 日～12 月 27 日(全 9 回)に連載した”青春の道標”、1998 年 11 月 26 日～1999 年 9 月 2 日(全 30 回)に連載した”数学アート”、また、東京新聞に 2000 年 10 月 4 日～10 月 8 日(全 10 回)に亘って連載した”わが街わが友”が収録されている。



Quark　秋山仁の人生無限大

著者：　秋山　仁(Quark)

出版年：　1995 年

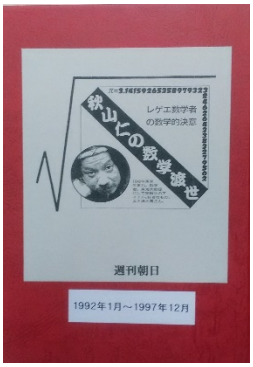
発行所：　講談社

（秋山仁研究室編纂）

総頁数：　171 ページ

解説：最先端の科学者と秋山仁の対談集。各分野の研究の醍醐味と将来の展望について苦労話も含め語って貰う。
対談者は以下のとおり。

第 1 回『ゾウの時間ネズミの時間』本川辰男先生(1995 年 1 月号)
第 2 回『半導体工学の生みの親』西澤潤一先生　(1995 年 2 月号)
第 3 回『ニュートリノ天文学の草分け』小柴昌俊先生(1995 年 3 月号)
第 4 回『トポロジーの天才』加藤十吉先生　　(1995 年 4 月号)
第 5 回『生命の起源の謎に挑む』長野敬先生　　(1995 年 5 月号)
第 6 回『天才パズル作家』芦ケ原伸之先生　　(1995 年 6 月号)
第 7 回『「科学者とは何か」を問う』村上陽一郎先生(1995 年 7 月号)
第 8 回『笑うカイチュウ』藤田紘一郎先生　　(1995 年 8 月号)
第 9 回『次期日本物理学会会長』米澤富美子先生(1995 年 9 月号)
第 10 回『腸は考える』藤田恒夫先生　　(1995 年 10 月号)
第 11 回『ヒト遺伝子の暗号に挑む』榊佳之先生(1995 年 11 月号)
第 12 回『日本人初の科学者の宇宙飛行士』毛利衛先生(1995 年 12 月号)



秋山仁の数学渡世

著者：秋山　仁（週刊朝日連載）

出版年：　1992 年～1997 年

発行所：　朝日新聞出版社・週刊朝日

（秋山仁研究室編纂）

総頁数：　79,　120,　143,　52　ページ

解説：本書には週刊朝日に連載された合計 292 編の記事が以下のように分類されて編集されています。

1.　『秋山仁の数学渡世』　1992 年 3 日号～1993 年 10 月 8 日号
　　（全 75 回＋番外 1 回分）
2.　『秋山仁の青春相談室』1993 年 10 月 15 日号～1994 年 12 月 30 日号
　　（全 60 回）
3.　『教育は仁術』1995 年 2 月 10 日号～1997 年 12 月 26 日号
　　（全 143 回）
4.　『秋山仁のマドンナ渡世』　1992 年 9 月 25 日号～1995 年 1 月 27 日号
　　（全 13 回）